



コンセント・スイッチなどの金属製アウトレットボックス・スイッチボックス取り付け
気密・遮音・防火区画貫通措置部材

耐火遮音気密 コンセント・スイッチボックスカバー

取扱説明書

国土交通大臣認定番号：PS060WL-0955(壁・中空壁(木軸対応))※耐火・準耐火60分
PS045WL-0956(壁・中空壁(木軸対応))※準耐火45分



ご注意

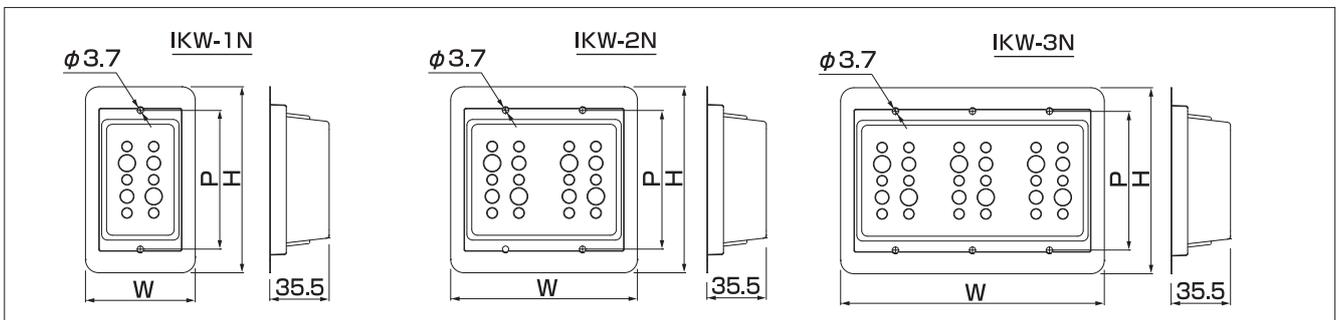
- 1.本製品の国土交通大臣認定は、コンセント・スイッチなどのない状態でケーブルが貫通する仕様での認定です。コンセント、スイッチなどを防火区画にご使用の場合は、事前に所轄の官公庁に確認をお願いします。
- 2.内線規程に基づいて施工を行ってください。
- 3.ご使用の際は、取扱説明書及び認定書をよくお読みください。
- 4.ケーブルサイズ選定の際には、認定書に記載の開口穴径、占積率を共に満たすことをご確認ください。
- 5.作業される場合は、手を傷つける恐れがありますので、軍手などを着用してください。
- 6.本製品は屋外仕様を想定した製品ではありませんので、直射日光に長期間あたる環境での保管は避けてください。
- 7.ケーブル貫通用の抜き穴とケーブルの間に隙間が生じると音漏れ、気密性低下の原因となります。貫通ケーブルのサイズに合った抜き穴の設定を行うようにしてください。
- 8.使用される配線器具は、メーカーの取扱説明書にしたがってご使用ください。配線器具の定格を超えて使用された場合、配線器具の寿命を超えた場合等は、配線器具が異常発熱する可能性がありますので、ご注意ください。

認定範囲 (詳細は認定書をご確認ください。)

		耐火・準耐火壁 (60分)		準耐火壁 (45分)	
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0955		PS045WL-0956	
壁	仕様	・耐火構造 (60分) の壁 ・コンクリート壁 ・準耐火構造 (60分) の壁		準耐火構造 (45分) の壁 ※1	
	厚さ	100mm以上		94mm以上	
開口寸法	金属製ボックス側の開口	0.014496㎡ (151mm×96mm) 以下		0.014496㎡ (151mm×96mm) 以下	
	金属製ボックス裏面側の開口	0.0064㎡ (80×80mm又はφ80mm) 以下		0.0064㎡ (80×80mm又はφ80mm) 以下	
金属製ボックス	品種	アウトレットボックス・スイッチボックス1~3個用		アウトレットボックス・スイッチボックス1~3個用	
	寸法	182 (±4)×117 (±4)×44 (±4)mm以下		182 (±4)×117 (±4)×44 (±4)mm以下	
	板厚	1.2mm以上		1.2mm以上	
	塗カカバー	ありまたはなし		ありまたはなし	
占積率	(金属製ボックス貫通孔の面積に対するケーブル断面積の総合計の割合)	36.8%以下		36.8%以下	
合成樹脂製可とう電線管 ※2 (JIS C 8411)	種類	CD管	PF管	CD管	PF管
	外径	φ27.5mm以下 (呼び22以下)	φ30.5mm以下 (呼び22以下)	φ27.5mm以下 (呼び22以下)	φ30.5mm以下 (呼び22以下)
ケーブル	導体断面積	22mm ² 以下 (ケーブル1本あたり) 63.7mm ² 以下 (総導体断面積)		22mm ² 以下 (ケーブル1本あたり) 63.7mm ² 以下 (総導体断面積)	

※1.木軸及びスタッド軸が可能です。 ※2.電線管なし(ケーブル直貫通)も可能です。

製品仕様



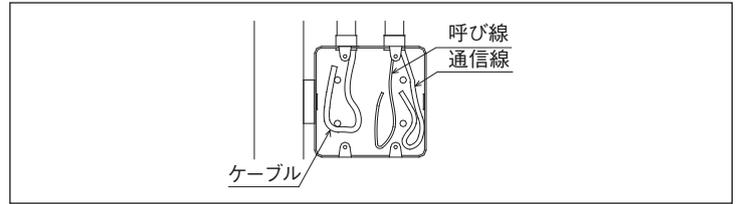
(単位:mm)

型番	適合金属製スイッチボックス	W	H	P
IKW-1N	1個用スイッチボックス・アウトレットボックス	65.6	112	83.5
IKW-2N	2個用スイッチボックス・アウトレットボックス	111.6	112	83.5
IKW-3N	3個用スイッチボックス	157.6	112	83.5



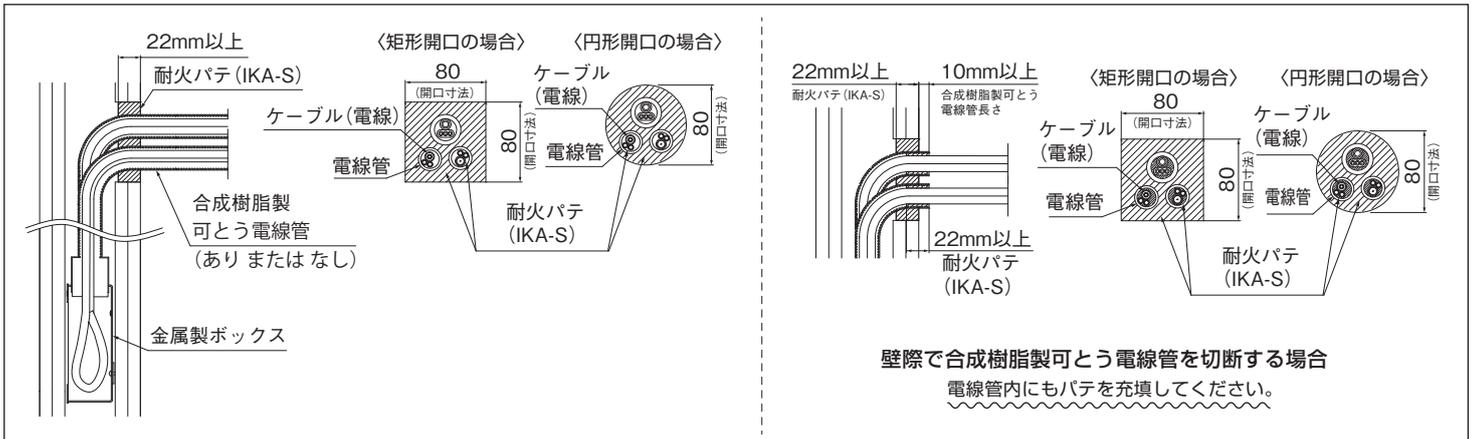
① アウトレットボックス・スイッチボックスの設置、配線

- 金属製アウトレットボックス・スイッチボックスの設置、配線を行ってください。



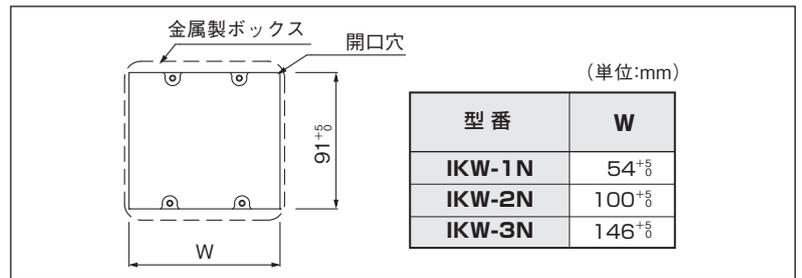
② 耐火パテ(IKA-S)の充填 (ケーブル貫通側)

- 石こうボードに配線 (合成樹脂製可とう電線管あり又はなし) の貫通穴をあけてください。
- 配線 (合成樹脂製可とう電線管 (P F 管・C D 管)) と石こうボードの隙間に耐火パテ (IKA-S) を 22mm 以上充填してください。(壁際で合成樹脂製可とう電線管を切断する場合は、電線管内にもパテを 22mm 以上充填してください。)
- 《注意》 国土交通大臣認定書内容に合致する耐火パテ (IKA-S) をご使用ください。



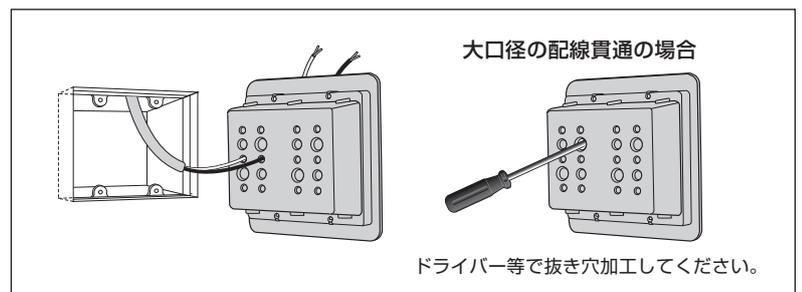
③ 石こうボードの開口 (ボックス側)

- 開口は金属製ボックスが中心に来るように右図寸法で行ってください。



④ IKW-Nへの通線

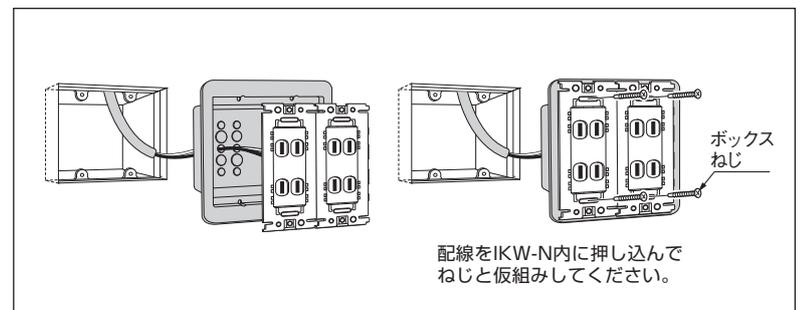
- IV 線は配線を IKW-N に突き刺して貫通してください。
- 大口径の配線貫通はドライバー等で抜き穴加工後に配線を通してください。



⑤ 配線器具の結線、ねじ仮組み

- IKW-N ねじ穴と配線器具ねじ穴位置が中心にくるように位置調整し、配線を IKW-N 内に押し込んでボックスねじと仮組みしてください。

《注意》
● 位置調整及び仮組みを行わないと配線の反力によってねじ止めしにくくなったり、IKW-Nが変形してツバ部の浮きが発生します。
● IKW-Nツバ部に浮きが発生すると、音漏れや気密性低下の原因となります。



⑥ 配線器具のビス固定及び化粧プレート設置

- 配線器具を金属製ボックスにねじ固定して、化粧プレートを取付けください。

